



# いしかわ労福協

第 527 号 2011年12月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会  
 発行責任者 狩山 久弥  
 編集人 上野 貞彦  
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号  
 電話 (076) 231-1737  
 FAX (076) 231-1731  
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>  
[info@ishikawa-rofukukyo.jp](mailto:info@ishikawa-rofukukyo.jp)  
 毎月1回 25日発行  
 定 価 一部 20円  
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

## 「汗と涙と闘いの歴史を継承し、運動の永遠を誓う」 大衆運動活動家を合祀・追悼する



顕彰之碑に献花する狩山会長

石川労福協、連合石川等で構成する石川県大衆運動活動家顕彰会実行委員会は、11月23日(勤労感謝の日)に金沢市内卯辰山の顕彰碑前にて、政治、労働、文化のそれぞれの分野において、平和、民主主義の発展、教育福祉環境等の向上に尽力し故人となられた11名の方々を合祀し追悼した。

第11回目となる大衆運動活動家合祀追悼会は、例年になく好天の下、顕彰之碑を前に、遺族や実行委員ら約50名が参列して行われた。

狩山久弥会長(連合石川会長、石川労福協理事長)が「本年合祀される11名が、生前に取り組まれた大衆運動の偉大な功績を称えてここに合祀する。」と主催者代表の挨拶をした。

荘厳な『英雄』の音楽が流れる中、今回合祀される11名の名前(右表)を記したプレートが、顕彰碑に納められ、参列者全員が献花した。

フレンドパーク石川に会場を変えて「感謝の集い」が行われ、関係者から在りし日の故人の姿がそれぞれ披露され、当時の故人を偲びつつ懇談された。遺族を代表して故川淵尚志氏(元連合石川会長など歴任)夫人の川淵順子氏が声を詰まらせながら合祀された感謝の意を述べて終了した。

合祀された方々の冥福を心よりお祈り申し上げます。

### 合祀者一覧

名 前	主な経歴
内山 光雄さん (享年 89 歳)	北鉄労組委員長 総評副事務局長
手取 正昭さん (享年 84 歳)	北鉄労組委員長 石川県評議長
坂下 初男さん (享年 84 歳)	珠洲市議会議員 石川労福協事務局長
角谷 乾三さん (享年 85 歳)	江沼チェン製作所労組委員長
川淵 尚志さん (享年 64 歳)	連合石川会長 石川県教組委員長
倉見 一男さん (享年 88 歳)	金沢地区労務局長 印刷労連石川地方本部顧問
川上 力男さん (享年 83 歳)	小松市議会議員
石井 大さん (享年 71 歳)	全農林北陸地方本部書記長
中野 光弘さん (享年 84 歳)	金沢市議会議員
篠塚 重男さん (享年 89 歳)	石川県評事務局長 国労北陸地方本部委員長
渡辺 正徳さん (享年 89 歳)	小松市議会議員



顕彰之碑前での遺族と狩山会長

ろうふく  ネット

5組のカップルが誕生



お相手選びの会話に熱が入る参加者

労福協子育て支援事業における婚活支援事業「ろうふく”むすび”ネット」は、「スイーツバイキング&ランチパーティー」として11月26日(土)午前10時30分から、金沢国際ホテル「輝の間」で開催した。

今回は石川県在住の30歳～39歳までの働く独身男女各25名を募集したところ、計96名もの応募があり、抽選で選ばれた男女それぞれ25名がパーティーに参加した。

パーティーの始めは物静かだった参加者達も、男性と女性が1対1で話す自己紹介タイムになると事前に用意された相手のプロフィールカードを手に会話に熱中し、中には制限時間を超えるほどに積極的に話をする参加者もいたほどであった。

参加者の交流を深めるためにゲームを実施したところ、優しい男性陣が女性を気遣って進んでゲームの罰を受け、「まずい青汁ジュース」を飲んで場を盛り上げた。

心優しい男性が多かったおかげか、この日は5組ものカップルが誕生し、終了した。

子育て支援担当 石井光江

福祉なんでも相談

アドバイザー会議 開催！

11月21日(月)フレンドパークにおいて、第6回福祉なんでも相談アドバイザー会議が開催された。こ



アドバイザー会議

の会議は石川県能力開発プラザ、子育て支援財団、消費生活支援センターや連合石川・労金・労済・喜成司法書士事務所・社会法律センターと労福協などから16名で構成され、労福協「福祉なんでも相談」活動の経験、意見、情報交換の場としたもので、各委員から、日頃の相談状況などが報告された。

特に、多重債務問題の相談については、件数は減少傾向にあるものの、①本人が高金利の過払いに気付かない案件がまだまだ潜在している②給与所得者の手取金額と年金生活者の年金額が、生活保護者の支給額よりも少額となるケースのようなアンバランスな状況が生じている③子育て問題では高学歴の母親ほど悩んでいることが多いなどが特徴点として報告され、全体では「うつ病」患者の相談状況が共通課題として協議された。

また、喜成司法書士事務所から、住居を持たない生活貧困者救済へのシェルターの提供などの現況のほか、自殺防止の看板(ヤセの断崖)設置なども報告され終了した。

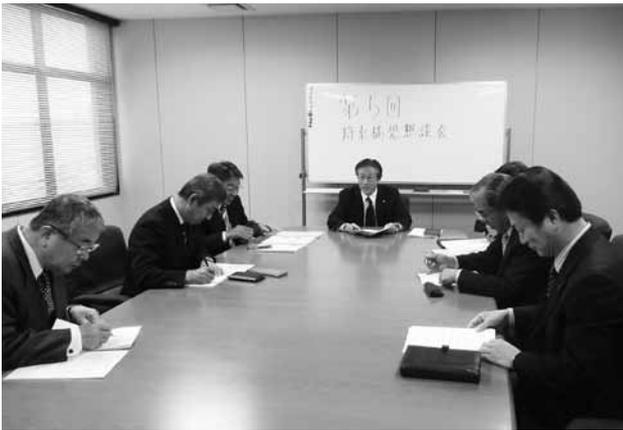
県 LSC 事務局次長 谷内英明

これからの行事予定

(12月15日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
12月 16日	金	食とみどり・水を守る全国集会	愛知県
17日	日	白山・野々市 LSC 寄せ植え教室	
28日	水	フレンドパーク互助会総会	フレンドパーク石川
1月 2日	月	谷本正憲知事新年互礼会	金沢ニューグランドホテル
5日	木	労福協・連合石川 2012 新春の集い	ANA クラウンプラザホテル金沢
11日	水	白山・野々市 LSC 新春の集い	白山学習センター
12日	木	連合かなざわ・金沢 LSC 合同 NEW・YEAR 旗開き	労済会館
18日	水	第35回石川労福協研究集会	フレンドパーク石川

## 石川労福協将来構想懇談会



将来構想懇談会

第5回将来構想懇談会は、11月30日(水)フレンドパークにおいて構成員9名が参加して開かれた。

今回は、県内にある6つの労働会館の公益法人移行の件について、地元の意向や今後の展望、移行作業の進捗状況などの調査結果を踏まえて協議がされた。

この中で、「各地区の労働会館は未だ新公益法人法について十分な理解をしていないのではないか」との発言を受け、今後は、連合石川、労金、労済、労福協からの代表者が、直接、各地区労館に対し、制度についての説明や理解、その対応、方針の決定について話し、その結果は労福協理事会に報告することが確認された。

次いで、労福協より長・中・短期の課題を提起しつつ、「将来構想懇談会」を設立するに至った経緯は解消されており、当面、本懇談会における活動を休止したい旨が提案・確認され、懇談会を終えた。

## 中央労福協定期総会

中央労福協は、11月25日(金)東京都内の総評会館にて第60回定期総会を開催した。

総会には、全国の各地方労福協および事業団体の代議員193名が出席し、2010～11年度の活動報告・会計決算報告、2012～13年度活動方針案・予算案・役員選出が提案され満場一致で承認された。

役員改選では、新会長に古賀申明連合会長を選任したほか、新役員体制が整った。



中央労福協第60回定期総会

古賀新会長は、就任にあたって「私たちは、大きな変革期を生きている。60年を数える歴史と伝統のある中央労福協のこれからの労働運動、これからの社会運動をどう描くべきかを、ぜひ皆さん方と考えていきたいと思っている。」と挨拶し、古賀新体制が出発した。

労福協 専務理事 宮下亮

## 中部会館協議会幹事会

東海・北陸・近畿の労働会館で構成する中部会館協議会の本年度2回目の幹事会が12月7日(水)～8日(木)に岐阜市内で開催され、11会員が参加した。

はじめに田村会長が「東日本大震災による自粛は解消方向に向かい、利用者数に回復の兆しが見えたが、まだ厳しい状況にあり、一日も早い日本の回復を期待する。」と挨拶して幹事会が始まり、会員からの現況報告や公益法人移行にかかる取組状況が報告された。

中でも、施設更新や修繕の費用は、新築後年数が大きい会館ほど重く経営に影響を与えているが、利用者の利便性向上・維持を考えた場合、背に腹は代えられない状況や、少ない費用で最大限の効率を得られるよう知恵を絞り取り組んでいる状況が報告された。

新公益法人法による移行作業については、公益事業による収支相償の確立に申請窓口などと調整が整わず計画を遅延している会員もあり、作業を進める中での問題点が判明し苦勞がにじみ出てくる状況が伺えた。

それでも、これまで任意団体であったところなどでは、順調に移行を進めている状況がわかり、新公益法人への移行手続きの難しさが日増しに強まるように感じる会議となった。

## 食とみどり・水を守るいしかわネットワーク総会が開かれる



食とみどり・水を守るいしかわネットワークは、12月8日(木)フレンドパーク石川2階ホールにおいて各構成団体から

約60名が参加して第6回総会を開催した。

宮下亮副代表(労福協専務理事)が「田植え・稲刈りの体験を通じ、飢餓に苦しむカンボジア、マリ共和国の学校給食等のための米の支援をすることに理解と協力をいただきたい。」と挨拶した。

議案審議では、約1.2トンの支援米を飢餓に苦しむカンボジア、マリ共和国に送ったことや緑と水を守るための取組み、協力団体の拡大などの活動報告のほか、新年度の活動方針が提案審議され、すべて提案どおり承認された。続いての2012年度役員選出により、新代表に狩山



久弥氏(連合石川会長)が選出された。

狩山新代表は「皆さんとともに食の大切さ、支援米活動に努めたい。」と新任の挨拶し、総会を終えた。

記念講演では、澤信俊金沢星稜大学特任教授が「暮らしと里山里海」と題し、講師自身の石川県の最先端=珠洲市木の浦での生活を通じ、自然が与えてくれる食や生活上の重要性を説きながら、「日本をはじめ世界の食事情・経済はアメリカ合衆国の企みどおり変化し、食糧不足を招いている。TPPについても同じで、加盟すれば、経済・食糧大国のアメリカの思う壺で、日本は飲み込まれてしまう。」と講演され、総会を終了した。



講演する澤金沢星稜大特任教授

## 「もちつき」で高齢者を慰問



「ヨイショ」の掛け声の中、餅を搗くボランティア

さわやかU(いしかわ介護ボランティアセンター)は、12月10日(土)金沢市畝田にあるデイサービス施設「プラトケアセンター金沢西」において、ボランティアや関係者約20名が参加し、施設の高齢者等約50名に「もちつき」を通じ元気を与える活動を行った。

この施設は、近隣の高齢者が通所するもので、澤信俊理事長が「今では珍しくなった餅つきをご覧いただいて、搗きたてのお餅を食べて益々元気になっていただきたい。」と挨拶した後、施設に運び込んだ臼で早速、蒸しあがったもち米を杵で搗き、大根おろし、黄粉、餡子を付けたプルプルのお餅は、お年寄りの皆さんの元気の源に変わった。

最後に、お年寄り施設スタッフから感謝の言葉をいただき、ボランティア活動への活力として終了した。

さわやかU マネージャー 山下恵三



各種集会・講演会・研修会等には  
**フレンドパーク石川**を  
ご利用下さい。

予約は電話でOK!

**(076) 234-2421**

## 全国クレサラ・ヤミ金被害者交流集会

### 特定調停(民事調停法 17 条)に議論集中



クレサラ全国集会

第 31 回全国クレサラ・商工ローン・ヤミ金被害者交流会 IN 愛媛は、11 月 26 日(土)、27 日(日)の 2 日間に 800 名が参加し、愛媛大学で分科会とホテル奥道後で全体会議が開催された。

昨年まで、全体会議から始まっていたが今大会は、2 箇所の分科会に参加できるよう配慮され、初日に愛媛大学の分科会から始まった。

第 12 分科会は、「生活再建のための特定調停利用について！（震災被害者が生活再建をするために）」と題した分科会で、約 100 人が参加し、特定調停 17 条についての苦情と対応経過が弁護士・司法書士から報告された。

また、第 4 分科会は、「生活保護利用者 200 万人時代の声を聞け！（当事者による運動を進めるために）」と題した分科会で、弁護士・司法書士等 25 人が参加し、生活保護にかかわる、特定調停 17 条の報告に終始した。

被害者体験報告では、「サラ金より過払いの金利を返してもらったが、私は被害者ではない。」と前置きし、「自営していると 2～3 日に 100 万円単位のお金が動く。急な支払いに当てる資金が無いときは、銀行の融資が支払日に間に合わず、サラ金に融通してもらった。ただ、近日中に返済してきたので、金利が多少高くても、銀行より重宝した。だから、サラ金を恨んではない。」とサラ金が必要とも受け取れる報告もあった。

二日目の 27 日には、会場をホテル奥道後に移し全体集会と記念講演が行われ、記念講演で

は、柴田武男氏(聖学院大学教授)は、「貸金業法の改正後はサラ金会社の TV コマーシャルが少なくなった。また、生活保護利用者が 205 万人と増えてはいるが、高齢者や障害者・病気による生活困難者より、『その他の世帯』が増えてきている。」と現状の説明、「原因としては、年金や就労による収入より『生活保護給付』の方が高額になっている背景がある。」と説明。最後に、『借金には①返さなければならない借金、②返してはならない借金、③返しても返さなくてもいい借金があることを理解し、今後の活動を行われたい。』と締めた。

県 LSC 事務局次長 一明政行

## 勤労者互助会



石川県勤労者互助会は、12 月 11 日(日)午前 9 時 30 分より、金沢市高柳町のユナイテッド・シネマ金沢において、会員交流「映画鑑賞会」を開催した。

この交流会は昨年から実施され、石川県内の会員 9,300 余名を対象に、定員 300 名で参加を呼びかけたところ、370 名もの申し込みが寄せられ、抽選により 98 家族 300 名が選ばれて鑑賞することとなった。

当日は、天候が心配されたものの、84 家族 251 名が来場し、スピルバーグ監督の家族向け人気作品「タンタンの冒険」を 3D の迫力ある映像で楽しんだ。

上映終了後、おたのしみ抽選会も実施され、みかん箱(5 Kg)が 10 名の当選者へ贈られ、盛会に終了した。

互助会事務局長 谷内 英明

